No.	018		3001	事	務事業	名	集排	<b>非施設</b>	維持管理	事業		細	事務	事業名		集排	炸施設	維持	管理事業		公的関与 3			
	課	名	下水	道課	仔	Ŕ	名	管理	里係	電話	番号	3	08	9-964-	4417	メー	ルアト	ドレス	gesuido@	city.t	oon.ehime.jp			
	事業区	区分	施	設の維	<u></u> 掛管理		事業運営	方法	一部委	託	実が	i計i	画	該当	事	業期間	9	年度	~	年度	期間設定なし			
	総合計	+画	政策目標	第1章	地球と共	生する	5快適環境の	のまち	政策項目	4 下水	道等	の虫	き備			主要	施策	(2)	農業集落排	水施	設の適正管理			
	事業の	対象	農業集落	排水加								根拠法令 浄化槽法												
	事業の	目的	最終的	行い、	な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を 、適正に汚水を処理し生活環境の向上と農業用用 及び公共水域の水質保全を行います。							今年	今年度 適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い、 適正に汚水を処理し生活環境の向上と農業用用排水及びな 共水域の水質保全を行います。											
Ρ.			① 集落排水施設(処理場2箇所・マンホールポンプ場23箇所) の維持管理事務											4 緊急対応及び施設点検										
Ι∢Ζ	活動内	内容	② 汚泥処理に関する事務											(5) 調查·報告·届出関係事務										
			③ 機器の維持修繕に関する事務																					
	成果指標			指標	票名		計算	式又は	指標設	定理由	肖	单位		平成 2	6 年	度平成	27	年度	平成 28	年度	最終目標			
			水質(上				水質汚濁防止法に定められた水 質項目で、水の汚濁状態を表 す。					/0	目標	20以下		2	20以下		20以下	<del>.</del>	20以下			
			BOD( 求量)	生物1	<b>占字的</b> 酸	<b>奈</b> 安						g/0	実績	6		5								
			水質(拝				水質汚濁					月標		20以下		2	20以下		20以下		20以下			
			BOD( 求量)	生物1	<b>匕字的</b> 酸	索安	質項目で す。	`、 7K0	)汚淘状!	悲を表	m	g/0	実績	;	3		3							
			,										目標											
												ı	実績											
	予算費	目	会計		農	<b></b> 集集落	<b>F排水特別</b>	会計		費目名	3				運営	管理			費					
	直接事業費				平成	26	年度決	算	平成	27	年度	<b>表</b>	算	平成	28	8 年	度予	·算	備		考			
			国・県支	出金			4,000	千円				0	千円			1	,500	千円						
			地方值	責			0	千円				0	千円				0	千円						
D			その他特別				13,103				15.5		千円			26		千円						
0			一般財源			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						千円	,											
			計(A)		46,348 千円						_	· ·												
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					5,173 千円 2,102 千円		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·												
	人件費(B)				0.349		2,099	-	0.349	人	2,1		-			_								
			臨時職員工数		0.000	人		千円	0.000				千円	0.00	0 人			千円						
	全体	事業費	費(A+B)				48,447 千円				47,2	.275 千円				59,505		千円						
	一次評価者		管理	理係		価点	Α	必要		有効性		4	達成			<b>小率性</b>			の方向性	Ę	見状維持 ——————			
	項目					評 ———	価 :	項 ——	目	の :	锐	Ę	明	(一次	評価:	者のコ	メン	<u>/                                    </u>						
	必要性	農業月	農業用用排水及び公共用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。																					
OII	有効性	民間多	民間委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。																					
ЯОШ	達成度	適正は	こ維持管理	里を行	い、適正	に汚オ	くを処理し	、放流	水の水質	が良好た	な状1	態に	保た	れている	ます。									
• 4 C	効率性		託できるものについて民間委託を行っており、現在、維持管理事務について最小限の人員で行っています。将来は、維持管理の増加に伴い 直す必要があります。													増加に伴い								
T I	課題	画的	後の完了後(運転開始)15年以上経過し施設の老朽化が進行する中、適切がかつ効率的・効果的なメンテナンス、維持管理が今後の課題となります。 画的なメンテナンスを行うにあたり、処理区統合を伴う機能強化対策をH29~																					
2 O	<u>=</u> ⊥	<b>一一</b>	七九に分り	ノ、光ゴ	いの迅速が	は対応	、事故等の	- 1友 1口(	ニロバノノニノ	はをひかって	をH2 きる	29~ 組織	33に stを維	実施す 持する。	る予算 とともん	Eです。 こ、放済	また、	と良好を良好	の維持管法	埋にお 快適な	さいて異常の な生活環境を			
	二次評	価者	下水流	道課長		合 価点	Α	必要	<b>達性</b> 4	有効性	生	4	達成	<b>戊度</b>	4   交	本性	4	今後	の方向性	Ę	見状維持			
		評価で 摘事り	c ば当	たり前	可の事であ	らること		じ、今往													市民から見れ 安全・安心な			

No. 3003 事務事業名 農業集落排水使用料及び分担金徴収事務 細事務事業名 農業集落排水使用料・分担金事務 公的関与 3 018 電話番号 089-964-4417 課 名 下水道課 係 名 管理係 メールアドレス gesuido@city.toon.ehime.jp 事業期間 9 年度 ~ 事業区分 経常的事務事業 事業運営方法 一部委託 実施計画 非該当 期間設定なし 年度 総合計画 |政策目標||第1章 地球と共生する快適環境のまち||政策項目||4 下水道等の整備 主要施策 (2)農業集落排水施設の適正管理 東温市農業集落排水施設条例、東温市農業集落排水事業 事業の対象 |農業集落排水施設使用者、農業集落排水事業受益者 根拠法令 分担金徴収条例 施設使用料及び事業分担金を適正に賦課するととも 最終的 事業の目的 **今年度** |滞納対策について、債権管理準備室と協議を開始しました。 に、徴収率を高めます。 (1) 使用開始届に基づき、下水道台帳への登録を行います。 **4** P 活動内容 (2) 検針データに基づき、下水道使用料を賦課徴収します。 **(5)** 3 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 最終目標 平成 26 年度 平成 27 年度 平成 28 年度 目標 98 98 98 100 % |使用料現年分徴収率 |収納額/調定額 実績 96 成果指標 目標 実績 目標 実績 予算費目 会計 費目名 農業集落排水特別会計 運営管理 費 平成 26 年度決算 平成 年度決算 平成 28 年度予算 備 考 27 国・県支出金 0 千円 0 千円 0 千円 地方債 0 千円 0 千円 0 千円 直接事業費 その他特定財源 0 千円 0 千円 0 千円 D 0 一般財源 1,068 千円 1,047 千円 871 千円 計(A) 1,068 千円 1,047 千円 871 千円 正職員工数・経費 0.120 722 千円 0.120 723 千円 0.120 716 千円 人件費(B) 臨時職員工数・経費 0.000 人 0.000 人 0.000 0 千円 0 千円 0 千円 全体事業費(A+B) 1,790 千円 1,770 千円 1,587 千円 合 効率性 一次評価者 管理係 必要性 有効性 達成度 3 今後の方向性 拡大•充実 評価点 明 項目 評 価 項 目 の 説 (一次評価者のコメント) 下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要が 必要性 あります。 C 有効性 下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。 Ε **達成度** 現年分の未納者が継続して発生しており、対策を強化する必要があります。 C **効率性** 現年分の徴収事務については、水道課に委託し、水道料金と一体徴収することで事務の効率化を図っています。 A C 当面の T 公平性の確保のため、引き続き収納率の向上に努めます。 課 題 0 革 現年度の徴収について滞納が発生した場合は、一体徴収をしている水道課と連携しながら、早期に対応し、新規未納者の解消に努めます。 N 計 画 合 今後の方向性 二次評価者 下水道課長 必要性 有効性 達成度 効率性 В 3 拡大・充実 評価点 二次評価で 公平性を保つためにも、実効性のある滞納整理計画を立て、新規滞納者の発生抑制と、過年分の滞納者改善の取り組みに努めて下 さい。税務課内に設置された「債権管理準備室」との連携を図ってください。 の指摘事項

No.	018	_	300	)4	事務事	業名	下水道使用料	料、賦認	果徴収及び	負担金関	連事務	細	事務	事業律	<u> </u>					1	公的関与 3		
	課	名	-	下水道詩	具	係	名	管理	里係	電	話番	:号	08	39-964	-4417	<b>y</b> —	ルアド	・レス	gesuido@d	city.to	oon.ehime.jp		
	事業区	☑分	分 経常的			 業	事業運営方法 一部委託			委託	実	施計	画	非該	当事	業期間	13	年度	~ 4	丰度	期間設定なし		
	総合計	┢画	・画 政策目標 第1			と共生する	・ ・ 快適環境のまち <b>政策項目</b> 4 下水道					等の	整備	主要施策 (5)下水道事業の健全運営									
	事業の	対象 公共下水道使			用者、	公共下れ	〈道受益者				根拠	法令	<b>六</b> 下水道法、東温市公共下水道条例										
	事業の	目的	最終			月料及び 率を高め	受益者負担金を適正に賦課するとと ます。					今年	今年度 滞納対策として、債権管理準備室と協議を開始しました								しました。		
			1) (1	使用開始	台届に基	づき、下	水道台帳への登録を行います。					4	土地	上地所有者へ申告書を送付し、受益者を確認します。									
P L A	活動内	容容	2	検針デー	ータに基	づき、下	水道使用料を賦課徴収します。					5	受益	者に対	けして多	受益者負	負担金	の徴収	又を行いま~	す。			
N			3	新規供用	開始区	「域につい	いて、賦課区域の公告を行います。																
			指標名				計算式又は指標設定理由					単位		平成 26 年度 平成 27 年度					平成 28 4	最終目標			
	成果指標									~/~ _	_	%	目標		98		98		98		100		
			使用料	<b></b>	収納率		収納額/	調定額	頚				実績			99							
			負担金	金現年分	収納率		収納額/調定額					%	目標実績	目標 96			98 100		98		100		
													目標										
			<b>△</b> =	÷L.		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	<b>小、光 #+:ロロノ</b>	<b>\</b> ∌1.					実績			小大事	· <del></del> · · · ·		#				
	予算費	(H	会記	iT	平日		水道特別会 <b>在度決</b>		平成		目名	度決	省	平月			<sup>乗</sup> ──── =度予	笛	費 <u> </u> 備				
	直接事業費		平成 26 国·県支出金			20	年度決算 平成 27 年 0 千円						千円					千円	VĦ		73		
			地方債				0 千円						千円										
D			その他特定財源										千円				1,675						
0							8,229				3,156 千円												
			計(A)				9,822 千円						千円	<u> </u>									
			正職員工数・経費		也 0.981 人		5,899 千円		1			5,908 千円		<u> </u>			5,851						
	人件費(B) ————————————————————————————————————		臨時職員工数・経費		, ,		0 千円					-	千円	0.0		$\frac{1}{\sqrt{1-x^2}}$		千円					
			上 隻(A+B)				15,721 千円				15	5,558 千円					4,323						
	一次評価者		管理係		総合評価点		A 必要				効性	4 達原		或度 4 <b>効</b> 率		効率性	<b>率性</b> 3 <b>今後</b>		今後の方向性		大•充実		
	項目					評	価 :	項	目	の	説		明	(-2	文評価	話者の=	メン	· <b>ト</b> )	·				
	必要性	下水道の整備により恩恵を受ける使用者(受益者)に対して賦課徴収を行う事務であり、負担の公平性を保つためにも継続して実施する必要があります。																					
СН	有効性	下水道事業の健全な運営に寄与するものであり、有効な事務です。																					
ECK	達成度	現年分の未納者が継続的に発生しており、対策を強化する必要があります。																					
А	効率性	現年の	分の徴	収事務は	こついて	ては、水道	道課に委託	し、水	(道料金	と一体	徴収る	と行う	ことに	より事	務の効	物率化を	·図って	ていま	す。				
C T I	当面の 課 題	公平位	生の確	保のため	り、引き	続き収納	率の向上は	こ努め	ます。														
O N	改 革計 画	現年月	度の徴	収につい	へて滞納	が発生し	した場合は	、水道	道課と連	携しな	がら早	.期に	対応し	ン、新規	見未納	者の解	消に多	ろめまっ	す。				
	二次評	価者	下	水道課		総 合 評価点	В	必要	更性 4	4 有	効性	4	達瓦	戊度	3 3	効率性	2	今後(	の方向性	拉	大•充実		
		評価で 摘事項					実効性の <i>あ</i> れた「債権								生抑制	削と、過 <sup>在</sup>	手分の	滞納る	*************************************	り組み	なに努めて下		

No.	018 -	- 301	l5	事務事業名	7	下水流	道施討	设維持管理	事業	前	田事務	事業	名	施	<b>西</b> 設維	持管	理事務	公的関与 3		
	課名	1	下水道課			名 管理係 電話番					0	89-96	4-441	.7 ×—.	ルアト	・レス	gesuido@city.toon.ehime.			
	事業区分	·	施設の約	<u></u> 推持管理		事業運営方法 一部委託			託 :	実施計画		該	当 :	事業期間	12	年度	~ 年度	期間設定なし		
	総合計画	〕 政策	<b>目標</b> 第1章	章 地球と共生	とする	快適環境の	)まち	政策項目	4 下水;	道等の	整備			主要	施策	(5)	下水道事業の個	建全運営		
	事業の対象	<b>象</b> 公共 <sup>-</sup>	下水道施	<del></del> 設							処法令	<b>去令</b> 下水道法								
	事業の目的	的最終	<b>的</b> 行い	Eな維持管理によって施設の機能発揮及び保持を 、適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共 、域の水質保全を行います。							今年度 適正な維持管理によって施設の機能発揮及び保持を行い 適正に汚水を処理し生活環境の向上及び公共用水域の 質保全を行います。									
Р.				道施設(処 持管理事務	2箇所・マン	ンホー	-ルポンプ	場11箇	4	<ul><li></li></ul>										
<b>14 Z</b>	活動内容	2	汚泥処理	に関する事				5	調査	調査・報告・届出関係事務										
		3	機器の維	持修繕に関																
			指標	票名		計算記	た又に	は指標設定	定理由	単位	立	平成	26	年度 平成	27	年度	平成 28 年度	最終目標		
			(川内浄4	化センター) 化学的酸素		水質汚濁防止法等に定められた 水質項目で、水の汚濁状態を表 す。					目標	15以下 1		15以下		15以下	15以下			
		求量)		16子的酸系	安						実績	Į	2.1		1.9					
	成果指標		(重信浄			水質汚濁防止法等に定められた				目標	1	5以下	1	5以7	F	15以下	15以下			
		求量)		16子的酸系	的酸素要 水質項目で、水の汚濁状態を表す。						実績	Į	2.1		2.4					
											目標									
											実績	Į								
	予算費目	会言	H	公共	も下オ	k道特別会	計		費目名	1			施設	党管理費			費			
				平成	26	年度決	算	平成	27	年度》	央算	平	成	28 年	度予	·算	備	考		
		国・児	県支出金			0	千円				0 千円	I			0	千円				
	± +		方債			0	千円				0 千円	ı			0	千円				
D	直接事業	貫 その他	その他特定財源			0 千円					0 千円	0 千円								
0		— <u></u>	一般財源			156,039 千円 15					8 千円	189,622 千円								
			計(A)			156,039 千円 15					8 千円	189,622 千円								
						0.325 人 1,954 千円						<u> </u>								
	人件費(B	3) ——	員工数・経費	0.000	人		千円	0.000			7 千円 0 千円	+	000	<del>/                                      </del>	-	千円				
	<b>全</b> 体重要	<u> </u> **********************************		0.000 X		157,993 千円		0.000			5 千円			191,560						
				総合																
	一次評価 <sup>3</sup> 項目	者	管理係	評価	点	A J	<u>必</u> 要 1		有効性の		明	成度 (一)	4 次評(	効率性  m者のコ			の方向性	現状維持		
		評価項目の説明(一次評価者のコメント) 共用水域の水質保全、快適な生活環境を維持するために必要であり、事業を廃止・休止することが出来ない事業です。																		
СΙ	<b>有効性</b> 技	術力のある民間委託により処理施設の機能を適正に保持し、放流水質の安定・向上を図り、公共用水域の水質保全に貢献しています。																		
ШΟ	達成度適	正な維持	Eな維持管理が行われており、処理された放流水の水質は良好な状態に保たれています。																	
K •				で民間委託を行い、増							て最小	ト限の,	人員で	で行ってレ゙	ます	。将来	には、効率性を	上げるため、更		
CTI				開始)10年」 果的なメンラ							別な下	水道サ	トービ	スを持続的	的に挑	是供す	る必要がある	ため、施設の計		
Z 0 -	改革期供	画的なメ 発見に努 するため、	町的なメンテナンスを行うにあたり、長寿命化計画を立てるため、H29に15年診断を予定しています。また、日常の維持管理において異常 発見に努め、緊急時には迅速かつ的確に復旧に向けた対応ができる組織を維持するとともに、放流水質を良好に保ち、快適な生活環境 るため、緊急時の迅速な対応、故障等の未然防止を図ります。											らいて異常の早 、生活環境を提						
	二次評価	者	水道課長	総評価		А	必要	<b>吳性</b> 4	有効性	<b>E</b> 4	達	成度	4	効率性	4	今後	の方向性	現状維持		
	二次評値 の指摘 <sup>3</sup>			との連携を 危機管理体																